

中部日本ジュニアフルコンタクト空手道選手権大会 試合規約

試合時間

クラス	本戦	延長戦	再延長戦
幼年（上段無し）	1分	1分	×
幼年（上段有）	1分30秒	1分	×
初心クラス（小学生）	1分	1分	×
初級クラス（小中学生）	1分30秒	1分	×
選抜クラス（小中学生）	1分30秒	1分	決勝のみ 1分
選抜クラス（高校生）	2分	2分	決勝のみ 2分

防具は布製に限る（高校生はパンチンググローブ） ヘッドガードは主催者側が用意（個人の物も使用可）

クラス	ヘッドガード	手	脛	膝	ファールカップ	チェストガード（女子）
幼年	○	○	○	△学年問わず自由	○ 女子は任意	△学年問わず自由
初心	○	○	○	△学年問わず自由	○ 女子は任意	△学年問わず自由
初級	○	○	○	△学年問わず自由	○ 女子は任意	△学年問わず自由
選抜	○	○	○	○ 小3以上義務	○	○ 小3以上義務

※テーピングは原則的に禁止とするが、大会救護係の許可があれば認められる。

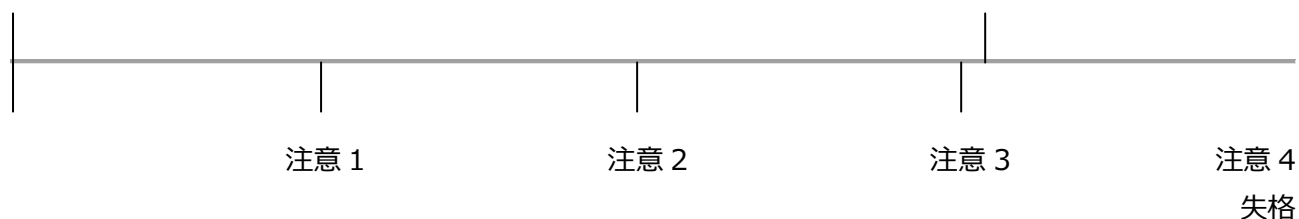
審判判定基準

1. 判定基準（技ありと注意の関係） ※注意は相殺される

一本勝ち

技あり1

技あり2



2. 判定優先順位

一本（失格） > 技あり > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性

一本勝ち

ア. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手が一瞬でもダウンしたとき。

イ. 相手選手が3秒以上戦意を喪失したとき。

ウ. 「技有り」2本を取ったとき。

技あり

ア. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手の動きが一時的に止まった時。

イ. 相手選手が一時的に戦意を喪失したとき。

ウ. 蹴りが上段にクリーンヒットしたとき。（ガードしていても、ダメージがあった場合も技あり）

エ. 相手選手を宙に浮かせ背中から転倒させたとき。

オ. 下段蹴りで足を引きずったり、腹部へのダメージで体がくの字になったとき。

判定

- ア. 一本勝ち・失格がない場合は、審判 5 名（3 名）のうち 3 名（2 名）以上の判断を有効とする。
- イ. 最終延長戦は優位性を見出し必ずどちらかに決める。
- ウ. 注意がある場合は、判定基準に基づく。

反則

- ア. 拳・手刀・貫手・肘等手技による顔面殴打及び首への攻撃。手先が軽く触れても 反則となる場合も有り得る。ただし、顔面を牽制することは自由である。
- イ. 急所（下腹部）への攻撃。
- ウ. 頭突き。
- エ. 掴み（道着・手足を掴む）や掛け（肩・首・頭部・体への手掛け）。
- オ. 押し。（掌底・拳・頭・体等によって相手を押した場合。片手で押しても反則である）
- カ. 押さえ。（手・腕で押さえる）
- キ. 抱え込み。（先に抱え込んだ方が反則である）
- ク. 頭、体を付けての攻撃。
- ケ. 背後からの攻撃。
- コ. 倒れた相手への攻撃。
- サ. 掛け逃げ。（技を仕掛けてるように見せて逃げる）
- シ. 関節蹴り、投げ技。
- ス. 何度も場外に逃げた場合。
- セ. **上段への膝蹴り（小学生以下・中学生初級は反則。中高生選抜クラスは有効）**
- ソ. 悪質な試合態度とみなされたとき。
- タ. 「止め」の後の攻撃。
- チ. 以上の他、審判員が特に反則とみなした場合。

注意

- ア. 選手は反則を犯した場合「注意 1」が与えられる。
- イ. 故意、悪質な反則とみなされた場合、または反則によるダメージが大きい場合は 1 回で「注意 2」となる場合がある。
- ウ. 「注意 4」で失格となる。

失格

- ア. 試合中審判の指示に従わない場合。
- イ. 試合時刻に遅れた場合。
- ウ. 一度の反則でもドクターストップになった場合。
- エ. 粗暴な振る舞い、とくに悪質な反則、とくに悪質な試合態度とみなされた場合。
- オ. 「始め」から判定が決まるまでに嘔吐した場合。
- カ. 計量時、規定体重をオーバーしていた時。
- キ. 「注意 4」となった場合。